

## 第1回 ROIS-NIG バイオ生成 AI 研究会

近年、大規模言語モデル(LLM)を基盤とする生成 AI の技術的進展は、ライフサイエンス領域へも急速に拡大しています。タンパク質言語モデル、RNA 言語モデル、さらには全ゲノム配列を学習基盤とするゲノム言語モデルの開発が進行しており、これらバイオ生成 AI は生命科学研究を根本から変革する可能性を秘めています。

情報・システム研究機構は、様々な大学等におられるバイオ生成 AI に興味をお持ちの先生方と一緒に、生命科学研究のパラダイムシフトを牽引するバイオ生成 AI を中心に据えた新しい研究領域の立ち上げを文科省と連携して推進していきたいと考えており、本研究会を立ち上げました。本研究会では、国内主要研究者に集まって頂き、バイオ生成 AI の可能性やゲノム言語モデル構築の課題、さらには実験検証との統合など、新しい研究領域を促進する場として活発にご議論頂きたいと考えています。

第1回研究会では、浜田先生と白石先生から最新の研究成果を発表頂くとともに、バイオ生成 AI、特にゲノム言語モデルに関して議論を深めることを目指します。

日時：2025 年 6 月 2 日（月）14 時~16 時 15 分

場所：情報・システム研究機構 機構本部 会議室（ハイブリッド形式）

### ■プログラム

14:00~14:05 バイオ生成 AI 研究会発足の経緯（近藤遺伝研所長）

14:05~14:15 ROIS における生成 AI の取り組み LLM.jp（黒橋情報研所長）

14:15~14:25 バイオ生成 AI(GLM)の研究動向（東@遺伝研）

14:25~15:25 バイオ生成 AI に関する意見交換（自己紹介とともに）

### 【研究発表】

15:25~15:40 浜田道昭（早稲田大学）

15:40~15:55 白石友一（国立がん研究センター）

15:55~16:05 文部科学省の取組み（文部科学省）

16:05~16:10 閉会の辞（喜連川 ROIS 機構長）

16:10~16:15 事務連絡